9月19日号　（昭和24年5月10日　第2597号　2002年(平成14年)　第三種郵便物認可）

海上保安新聞

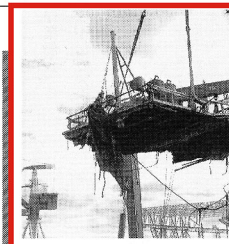
発行所　財団法人　海上保安協会　〒104-0045　東京都中央区築地 5-3-1　電話 03-3542-3678〜9　FAX 03-3541-9085　購読料　月極610円　送料共　（毎週木曜日発行）

創業大正八年　伝統と技術を誇る
日本光機工業株式会社
取締役社長　上野紘
本社及川崎工場　川崎市幸区下平間290　電話(044)522-6341
横浜工場　横浜市金沢区福浦2-7-18　電話(045)783-6581

工作母船の可能性高い

不審船内部に子船　武器、ミサイルなどを回収

九月十一日に鹿児島県・奄美大島沖で引き揚げられた不審船と起重機台船の海水ブール内に固定され、鹿児島県警の船舶警戒艇「はやぶさ」で安全確認作業が行われている。不審船本体と回収した漁船物語隠蔽すれば本格的な捜査が始まる。海上保安庁は、不審船の内部に小型船艇（子船）があることを確認しており、工作母船の可能性が極めて高くなっている。



17日、鹿児島ドックへ陸揚げされた甲板室の一部

〈不審船〉

引き揚げられた不審船は全長約三〇㍍、幅約五㍍。

船舶構造部は大部分が鋼製で、残っていたのは操舵室周辺とエンジンのコントロール部分だけ。機関室の大半も脱落していた。

船体は薄鋼鈑で、船首部の舷側に弾痕のようなものがあったが、「船底には大きな破損はなかった。なぜ不審船が急に沈没したのかの原因は残っていない。

船体は全体がV字型、エンジンは船首側に二列ずつ四基ある三菱重工製スクリュー四軸、中央部に二枚舵、中央下寄りに可変ピッチプロペラ一基を装備。

船体は船尾から船首にかけて、船底部、船倉、機関室、船首部の四区画に分かれている。

船体構造は、船底部分が二重底になっており、船倉部分は船底部と船側部の間が小型船艇の格納庫になっている。

船舶構造部は大部分が鋼製で、残っていたのは操舵室周辺とエンジンのコントロール部分だけ。機関室の大半も脱落していた。

船体は薄鋼鈑で、船首部の舷側に弾痕のようなものがあったが、「船底には大きな破損はなかった。なぜ不審船が急に沈没したのかの原因は残っていない。

船体は全体がV字型、エンジンは船首側に二列ずつ四基ある三菱重工製スクリュー四軸、中央部に二枚舵、中央下寄りに可変ピッチプロペラ一基を装備。

船体は船尾から船首にかけて、船底部、船倉、機関室、船首部の四区画に分かれている。

船体構造は、船底部分が二重底になっており、船倉部分は船底部と船側部の間が小型船艇の格納庫になっている。

〈子船〉

十二日に不審船を台船のブール内に固定する作業中、観音扉の隙間から小型船艇のようなものの姿が確認された